

光子 藤山、お前も、妹の九子にしろ。且  
 那さまにはずのふん御厄女をかけたんはあ  
 いろ。しろお前の金にしろ二千円といふは東  
 のところを三千円渡してしまつたんよ。それ  
 且那やあな、天ちめさんお花しい思ひして渡  
 した金と思ふ...

藤山 御恩は御恩ありやいと思ひますよ。  
 左の金の問題はまた別ですよ。損はうりして  
 人様の家と建てたんぢやわね、請負師は  
 首で縊らふくちやありませぬ。

秀作 とこのくわしめ、死ぬすく死ぬぬ  
 ぢあさう。藤山、どうぢわしの生きておる向に  
 あの家を引渡してくわ。わしはあの家には  
 いつか一日でいい、このう安心して死にたい  
 のぢ。

藤山 ~~且~~ 且那さまにあの家をわたしてか  
 金は世身入する水きりにあつた日にわたくしの方  
 こゝろ飛んた ~~難~~ 難ぢ。わたしの方  
 とすれば一日でも早く且那さまの生さてあ  
 いでの向に金だけはおぢさんとお掛ひして四連い

にしろ  
 二千円  
 三千円

MARUZEN I

